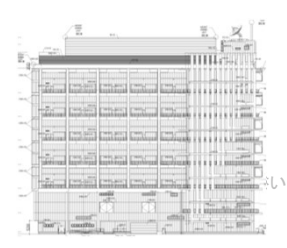


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区宮下一丁目224番326建物増築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県相模原市中央区宮下一丁目224番326	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025/01/31 予定	評価の実施日	2023年3月10日
敷地面積	9,977 m ²	作成者	株式会社 日本設計
建築面積	5,123 m ²	確認日	2023年3月12日
延床面積	31,230 m ²	確認者	株式会社 日本設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
災害時にも建物機能を維持可能なように免震構造を採用し、設備機器の耐震性・冗長性にも配慮した。		
Q1 室内環境 化学汚染物質の放散を防ぐために材料はF☆☆☆☆を基本に採用した。	Q2 サービス性能 耐震性能確保のため建物全体に対する免震構造を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部の防犯用フェンスを敷地境界線よりセットバックさせ緑地帯を設置し、周辺環境への配慮を行った。
LR1 エネルギー BPI _m : 0.52	LR2 資源・マテリアル コンクリート及び鉄筋:Fc=36以上、かつF=390以上、鉄骨:F=325以上355未満。冷間成形形鋼管におけるBCPを採用。	LR3 敷地外環境 屋上ファーリング設置し、敷地外への騒音配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される